

市民懇談会会議録（1日目）

会議の名称	富士見ガーデンビーチ運用に関する市民懇談会
開催日時	令和2年1月24日（金）19時30分～21時00分
開催場所	市民総合体育館 多目的室1・2
出席者	参加者：17名 事務局：林教育部長 生涯学習課（深迫課長、高見副課長、坂本主査、加藤主任）
<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ 教育部長から</p> <p>3 職員紹介</p> <p>4 富士見ガーデンビーチの基本情報・現状把握</p> <p>（1）富士見ガーデンビーチの施設規模</p> <p>（2）運営状況</p> <p>（3）入場者数の推移</p> <p>（4）これまでの維持管理費用の推移</p> <p>（5）今後必要とされる修繕（見込み）</p> <p>（6）生涯学習施設1日当たりに掛かる経費</p> <p>（7）台風による被害</p> <p>（8）埼玉県内の市民プール設置状況（令和元年度現在）</p> <p>（9）ガーデンビーチ建設の背景</p> <p>（10）ガーデンビーチを取り巻く状況の変化</p> <p>（1）～（10）まで事務局から資料に基づき説明。</p> <p>5 質疑等</p>	

参加者：この市民懇談会の開催趣旨はどういったことなのか。ガーデンビーチの来場者数が減っているのは少子化が原因だと思う。市は「子育てするなら富士見市で」と子育て世代を呼び込む政策を行っているが、教育委員会や市長としては子育ての面から考えた時にガーデンビーチについてどのように考えているのか。

事務局：教育委員会としては、まずはガーデンビーチの現状について情報提供し共有させていただき、その上で市民の皆さんの思いを伺いたい、ということで懇談会を実施したところである。

参加者：運営に掛かる経費の中に入場料の収益も含まれているのか。

事務局：経費の金額は、市が支出している金額を示している。指定管理者は、市が支払う指定管理料、お客様からの入場料、売店の売上げでガーデンビーチを運営しており、入場料の収益は指定管理者に入る。

参加者：入場料収入はいくらなのか。

事務局：平成30年度は、15,666,300円の入場料収入があった。

参加者：指定管理料と入場料等で、約4,000万円が指定管理者に入るとのことか。

事務局：そのとおりである。

参加者：指定管理者は一般競争入札で決定しているのか。

事務局：プロポーザル方式をとっている。運営を希望する業者を募り、費用や取り組み等について提案をしてもらう。提案内容を審査委員会で審査し、指定管理者を決定している。市民の方も審査委員として参加している。

参加者：毎年50日程度の運営の費用としては、指定管理料と入場料で約4,000万円という経費は高額すぎると感じる。指定管理料を除けば1日当たりの経費は約75,000円とかなり安くなる。

参加者：昨今、全国で1,000か所以上のプールが廃止されているそうだ。維持管理が大変で自治体の負担が大きいこと、少子化で利用者が減っていることが原因だと聞いた。ガーデンビーチをリニューアルする場合に約18億円の費用が掛かるということだが、市は負担できるのか。捻出できる当てはあるのか。

事務局：まだ方向性が定まっていない段階ではあるが、仮にリニューアルすることになったとしても、全ての費用を市民の税金から支出することは難しいと考えている。クラウドファンディングやふるさと納税等の寄付金の活用を検討するとともに、入場料の値上げも視野に検討しなければならないだろう。

参加者：もしガーデンビーチを廃止する場合、学校プールの開放等は考えているのか。

事務局：ガーデンビーチのあり方として、子どものための施設という意味合いが強いと認識している。子どもに身近な施設ということで、学校プールを開放することも可能性としてはあり得る。

参加者：資料を見ると、ガーデンビーチの良いところが載っていない。良いところが無い施設であれば何故続けていくのか。やめてしまえば良いのではないか。

事務局：開業当初は市民待望のレジャープールだった。また、利用者が減少しているとはいえ毎年約5万人に親しまれている施設である。マイナス要因が多い施設であるとはいえ、簡単にやめることはできないと考えている。

参加者：約50日の運営日に対する指定管理料としては、現在の金額は高いと思う。費用の妥当性の見直しや、運営の改善・努力等、やっていることがあれば教えてほしい。

事務局：内部では入場料の見直しを検討したこともあったが、近隣の公営プールと比較してもガーデンビーチの入場料は平均的な金額であること、値上げをすると利用者が少なくなるという懸念もあることから、指定管理者とも協議のうえ据え置いた。ポスターやホームページ等の宣伝手法については、指定管理者と相談しながら決めている。

参加者：廃止かリニューアルか、どの段階で決断するのか。

事務局：安全・安心な施設を維持するためには、近い将来のリニューアルは避けられないと考えている。現段階では、廃止・リニューアル、どちらとも言えない状況だが、その判断をするためにも皆さんから意見をいただいているところである。教育委員会としては今回の懇談会のほか、スポーツ推進審議会委員や学校関係者、町会の方などにお集まりいただく市民検討会議や、市民へのアンケート調査を実施している。皆さんからいただいた意見を参考に、次の段階へ移行していく必要があると考えている。

参加者：子育て世代を呼び込むためには、ウォータースライダーや流れるプールを備えたプールの存在は大きな売りになるので、ぜひ維持してほしい。もしお金が足りないということであれば、施設を拡張して近隣市町と共同運営する形はどうか。また、健康増進施設という意味では現在の施設には不満がある。利用者が減ったといっても実際に行くと混んでいて、50mプールでの水泳や、水中で

のウォーキングはできない状況である。専用レーンを設定する等、改善してほしい。

参加者：生涯学習施設として、子どもだけではなく高齢者も利用できる通年の施設を検討してほしい。温水プールやお風呂等のある施設を研究・検討してもらいたい。

参加者：子どものためには存続してほしいと言わなければならないのかもしれないが、資料を見るとそれも難しいように感じた。利用者は年々減っているということだったが、行ってみるととても混んでおり、子どもたちだけで遊ばせるのは危ない。親と一緒に行って見ている必要がある。小学校でも子どもたちだけで行ってはいけないと指導している。ガーデンビーチの近くに住んでいるが、駐車場も大変混んでおり車のマナーも悪い。事故もたびたび起きている。続ける努力や改善はしてほしいが、現状のガーデンビーチが生涯学習施設として良い施設だとは思わない。現状は生涯学習施設ではなく、子どもの遊び場である。夏しか使えない施設に高額な費用をかけるのであれば、別の形で子どものためにお金をかけてほしいというのが親としての意見である。

6 閉会